

ご自由にお持ち帰り下さい。



萌

もえる
SPRING, 2010

NISHI YOKOHAMA INTERNATIONAL HOSPITAL

INFORMATION

院長ご挨拶
耳鼻咽喉科—アレルギー性鼻炎

VOL. 40



医療法人
横浜博協会

西横浜国際総合病院



特集

心も体もリラックス
「腹式呼吸」で気軽に息抜き

優しい易しい介護術
「起き上がり」のコツ

折り紙セラピー
～跳ぶカエル～

院長ご挨拶

わが国の将来を考え、歴史的政権交代がなされてから半年が過ぎようとしております。しかしながら未だ景気回復の兆しも無く、デフレスパイラルの渦中で、混沌とした社会情勢が続いております。

医療情勢も、診療報酬がアップされるとはいいながらも、僅か0.19%であり、厳しい情勢には変わりありません。この状況の中で当院は、この環境この地域社会の中でどのような役割をなしていくか考え、議論してまいりました。

この数年の院内改革により、診療体制、インフラ整備は大きく改善され、皆様方にお役に立てる整備は完成しつつあります。また横浜医療センター新病院がオープンし、戸塚の街の医療スタンダードが大きく変化しようとしております。当院は時代の流れに遅れることなく、医療センターや地域の先生方と連携を深め、かつ独自色を発揮し新しい医療を提供し、改革を継続してまいります。地域に根ざした地域密着型病院とし、急性期、救急医療はもとより、回復期リハビリ棟などのリハビリ分野から人工関節などの先端医療、さらには在宅介護部門まで、安心して暮らせる街づくりに貢献してまいります。

平成22年度の診療体制としましては、診療の中核であります内科はこの数年で医師増員がなされ、腎臓内科も含め充実した陣容となっております、さらなる整備発展を考えております。外科医不足の時代でありますが外科・消化器科に北川先生が増員され、常勤4名+非常勤2名と充実した体制となり、東京女子医大関連施設として手術のみならず、内視鏡検査治療などの拡充を考えております。整形外科にも北里大学より菊池先生が増員となり、迅速丁寧な診療を目指しており、関節外科センター

診療体制の充実も計画しております。また泌尿器科には非常勤であった兵地先生が常勤医として赴任していただけることとなりました。その親しみやすいお人柄と豊富な経験知



小松 永二院長

識により、地域医療に貢献していただけたと思います。また当院自慢の尿管結石破碎装置もフル活用できる体制となりました。

しかしながら当院の病院規模で全ての需要にお応えすることは困難であります。残念ながら婦人科、乳腺の一般外来は閉診させていただくこととなりました。もちろん女性の健康、検診が目ざされている昨今、この分野での貢献を放棄することは出来ません。幸い、4月より健康管理センターに検診専門医であります与那覇先生に来ていただくことになりました。検診分野で経験豊富な女性医師で、乳癌検診、婦人科検診にも造詣の深い先生です。この街の半分を占める女性に対し、検診という形で今まで以上に役に立っていきたいと考えております。

当院は今後も院内の診療体制の整備に努め、患者さんから満足していただける病院、紹介くださる先生方や施設の方々に満足していただける病院、さらには何よりも職員が満足し活気のある病院の創造を目指して努力して参ります。心と言葉の通い合う医療の実践を目指し、職員一丸となって精進を続けてまいりますので、今後ともよろしく願い申し上げます。



本格的な花粉症の時期がやってきました。花粉症患者さんにとって、いかに快適にこの時期を乗り越えることができるかによって、QOL(生活の質)がかなり変わってくると思われます。そもそも、アレルギー性鼻炎とはなぜ起こるのでしょうか？

アレルギー反応とは、異物侵入に対して免疫機構が過剰防御システムとして働き過ぎてしまうからです。アレルギー性鼻炎は基本的にはI型アレルギー反応の形をとります。花粉などの抗原が体内に侵入することによって、主にリンパ球が刺激されIgEなどの免疫グロブリンが産生されます。このIgEが肥満細胞に結合し、抗原が捕捉されることによって、ヒスタミン、ロイコトリエンなどの化学伝達物質が放出されます。これらケミカルメディエーターにより、血管や神経が刺激され、くしゃみ、鼻水、鼻つまりなどのアレルギー性鼻炎の典型的な3大症状を引き起こします。

それでは、アレルギー性鼻炎の原因として、何が多いのでしょうか？ スギ花粉も確かに多いのですが、それ以外に、ヒノキ、イネ、ブタクサ、カモガヤ、ヨモギなどの花粉、あるいは、ダニ(チリダニ、ヤケヒョウダニ、コナヒョウダニなど)、ハウスダスト、アルテルナリアやカンジダなどのカビ、真菌類、ネコやイヌのペットの毛なども通年性アレルギー性鼻炎の原因となります。10歳ごろまでの幼児、小児では、ダニ、ハウスダストなどの通年性アレルギー性鼻炎が多いのですが、10歳以降になると、スギ花粉症やスギ以外の花粉症が多くなり、有病率ではスギ花粉症では、10～50歳代では30%と高い有病率となっています。

スギ花粉以外の花粉症や、通年性アレルギー性鼻炎でも、20%前後とこちらも高い有病率となっています。治療の基本は抗原の回避であります。テレビやインターネットなどで花粉症情報に注意することや、あるいは、外出時花粉症対策用の眼鏡・マ

スクを着用する、花粉の飛散が多いときはなるべく窓を開けないことや、室内清掃に注意することも大切だと思います。

当科では、抗ヒスタミン薬、抗ロイコトリエン薬、噴霧ステロイド鼻薬などを中心とした薬物治療を行っておりますが、投薬によっても症状が改善しない場合には、本格的飛散前に、積極的に外来もしくは入院でのレ

ーザー治療や入院での鼻中隔矯正術・粘膜炎下鼻甲介手術を行っております。後者の手術は約1週間の入院が必要ですが、効果はレーザー治療よりも高く永続的です。アレルギー性鼻炎でお困りの患者さんはお気軽にご相談ください。



かわのしろう
河野敏朗医師

耳鼻咽喉科部長
平成5年徳島大学医学部医学科卒業
医学博士
日本耳鼻咽喉科学会認定専門医
日本東洋医学会専門医
日本医師会産業界
身体障害者福祉法第15条指定医
補聴器判定医
補聴器相談医
音声言語機能判定医
難聴性難聴担当医
日本アレルギー学会所属
横浜市大非常勤講師
横浜市大客員准教授

<耳鼻咽喉科外来診療担当表>

	月	火	水	木	金	土
午前	河野 非常勤	河野	河野 非常勤	-	河野	河野 非常勤
午後	河野 非常勤	手術	河野 非常勤	-	非常勤	-



病院理念 安心・安全の医療—患者様と共に—
基本方針 良質な医療の提供・地域医療への幅広い貢献・生命と人権の尊重

診療受付時間 平日・土曜とも 午前7:30～11:30
平日のみ 午後0:00～4:30

診療開始時間 午前9:00～ 午後1:30～(平日のみ)

救急外来 救急・急患の方は24時間の診療体制

付属施設 腎・透析センター・健康管理センター・関節外科センター・
西横サービスセンター(居宅介護支援事務所)・ケアフレンズ横浜(訪問介護)

診療科目 内科(一般・循環器・呼吸器・腎臓)・外科・
消化器科・脳神経外科・整形外科・関節
外科・小児科・眼科・耳鼻咽喉科・婦人科・
皮膚科・泌尿器科・精神科・麻酔科・
リハビリテーション科

関節外科センター



関節外科センター長
大久保 俊彦 医師

日本整形外科学会専門医
日本リウマチ学会専門医
日本整形外科学リウマチ認定
義肢装具適合判定医



▲新・名医の
最新治療2010



▲いらい病院
2009

- ◆高度な技術と経験を必要とする、整形外科の人工股関節と人工膝関節置換術を中心に診療を行っています。
- ◆患者様の早期退院、早期社会復帰を第一に考え、患者様にとって最善の治療を行い、理学療法士らと連携し術後のリハビリにも力を入れ、長期的フォローも実践しています。
- ◆関節外科センター長の久保俊彦医師は、人工関節のスペシャリストで、人工関節は元より、関節の形を正常化する寛骨臼回転骨切り術、外反骨切り術など様々な関節の病気に幅広く対応しています。その内容は週刊朝日ムックの「手術数でわかるいい病院」、新「名医」の最新治療2010に掲載されました。
- ◆2009年8月まで、人工股関節置換手術1868例、人工膝関節置換術304例、寛骨臼回転骨切り術763例、外反骨切り術176例など全国でも屈指の手術件数を積んでいます。
- ◆関節外科外来は、月・火・木曜日の午後・土(第2・4週)午前の診療で予約制です。

http://www.nishiyokohama.or.jp/kansetsu_c.html

腎・透析センター

- ◆総合病院としての利点を活かし、各診療科との連携の下で、合併症等へ適切に対応、検査・入院が可能です。
- ◆腎臓内科の常勤医が4名おり、透析診療の他、毎日腎臓内科外来診療を行っています。
- ◆ご希望される患者様は無料送迎車をご利用いただけます。
- ◆介護度の高い方には、介護保険による送迎サービスのご利用をご案内いたします。
- ◆旅行・帰省時の臨時透析も対応いたします。
長谷川理事長(腎臓学会指導医・透析医学会指導医)
猪芳亮副院長兼腎・透析センター長(透析医学会専門医、
内科学会認定医)
山本三月医師(透析医学会専門医・腎臓学会専門医)
築取誠医師(日本外科学会専門医)

■ご相談・お問い合わせ(他施設からの転院ご希望の方)
TEL:(045)871-8855(代表)透析センター・地域医療連携室

<腎臓内科外来診療担当表>

	月	火	水	木	金	土
午前	猪 築取	山本	猪	山本	猪	
午後	築取	常勤医	常勤医	猪	常勤医	—



▲腎・透析センタースタッフ



(財)日本医療機能評価機構認定病院 Ver.5 認定第GA220-2号

医療法人
横浜博愛会

西横浜国際総合病院

〒245-8560
横浜市戸塚区汲沢町56
TEL:(045)871-8855
<http://www.nishiyokohama.or.jp>

